

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	1/26
日時	平成 21 年 10 月 16 日(金)	場所	北地区文化センター

## 1. 開会【企画財政次長による開会】

定刻になりましたので、ただいまより平成 23 年度からの次期総合計画に関わります地域別懇談会を開催させていただきます。座間市において現在、第三次総合計画の計画期間内であり第三次の総合計画につきましては平成 3 年に策定されまして、平成 22 年度をもちまして期間が終了と、こういう状況でございます。従いまして、平成 23 年度からの次期総合計画について皆様方からご意見頂戴し、いわゆる今後の座間市のあるべき姿というものにつきまして忌憚ないご意見をいただきたいとこのように思います。また本日はあわせまして次期総合計画に密接に関連します都市マスタープランというものがございます。これについてもご意見等をいただきたいと考えております。意見交換の後、座間市長より総括的なまとめをさせていただきたいと思っております。また、本日いただきましたご意見につきましては、十分に精査・検討させていただき、計画に反映させ計画案がまとまり次第、第 2 回地域別懇談会を開催させていただく予定です。その中で具体的な内容につきましてご報告もうしあげ再度ご意見等をいただく予定です。よろしく願いいたします。それでは座間市長であります遠藤市長からご挨拶申し上げます。

## 2. あいさつ【市長によるあいさつ】

皆さんこんばんは。本当にこのお忙しい時間、夕食の時間帯にもかかわらず大勢の皆さんにご参加いただきましてまずもって深く御礼を申し上げたいと存じます。ただいま開会のご挨拶のなかでもご紹介ありましたが、わたしも座間市においては現在、第三次総合計画の計画期間内であるわけでございますが、平成 23 年の 4 月から次期の総合計画、これを策定したうえでその計画にしたがって今後市政について計画的な推進をしていく、こういう時期にきております。第三次の計画については、平成の 3 年にスタートして前期 10 年・後期 10 年全体で 20 年の計画となっておったわけですが、今回の時期総合計画につきましては計画期間をむこう 10 年と期間を区切って計画策定させていただきたいと存じております。それは、私が申すまでもなく本当に変化の激しい時代になっておる、そうした世相になっておるわけでございます。とりわけ私ども日本では少子高齢化社会、この高齢化の進行も急ピッチで進んでおるわけでございます。この人口減少については、人的要因を除き歴史上かつて経験したことのない事態、そうした課題を国全体で抱えていくなかで、私ども基礎自治体、市町村、市民生活に密着した立場でどのような施策をとっていくべきなのか、また安心安全そして末永くここで本当に暮らしてよかったと思えるまちにするために何が必要なのかということについて、どんどんこれはやはり考えをめぐらせてこの計画を策定していかなければならない、このように思うわけでございます。今後の社会情勢について正直予測が出来る人はいないというふうに思います。現在取り組んでいる私ども座間市の第三次総合計画、これについては平成 3 年からということで歩んでおるわけでございますけれども、平成 3 年という頃をぜひ皆さんにも思い出していただきたいと思うわけでございますけれども、ちょうどバブル経済が終焉を迎えて、坂道をごろっと下り始めた頃だったというふうに私は記憶しております。それから以後失われた 10 年と言われた日本経済のバブルの低迷期、これが私ども座間市にとっては第三次総合計画の前期計

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	2/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

画にあたる期間であったわけでございますし、その後の2001年から以降これが後期計画の該当期間であったわけでございます。日本経済がちょうどその谷間に向かうそうした時期にその前のバブルのそれこそピークからちょうど盛りの頃にあまれた計画が第三次総合計画、それに従って私ども座間市の都市基盤整備というのが特に前半の10年間で進められ、この間のやはり経済危機こうしたものを踏まえた中で、後半の10年間というのがその前半期に進めさせていただいたハードウェアの整備、都市基盤整備の部分でできた市債、これを丹念に償還をしながら市民の生活を守る、こうしたこれまでの取り組みであったのではないかというふうに私自身は次期総合計画の策定にあたって総括をさせていただいております。その20年前に誰が今日のこの事態を想像したでしょうか。また、前期が終了し後期の10年間を考えると、こうした状態になることを誰が想像したでしょうか。この間にそれこそ携帯電話の普及があり、私ども子供の頃、まさかこんな時代がくるとは思ってもいなかったような状況になり、エネルギー危機というものが目前に迫る中、温暖化とういものがあり、どうも電気自動車というものも今後10年のスパンで考えますとおそらく10年後には相当普及しているんじゃないかといったような社会、そしてシステムの変化があらうかと思えます。こうした状況というものをやはりしっかり踏まえながら、今回の次期総合計画については、それらに対して柔軟に対応出来るようにということで、計画全体を5年間で見直しをし、事業計画については2年にいっぺん見直しをしていく、その時代にきちんとマッチしたかたちでこれを考えていく。見直しをするということを私は盛り込ませていただいております。ましてこの厳しい経済情勢、地方公共団体の財政状況というものもご存知のとおり本当に厳しい状況になっております。その厳しい財政の中で必要なものについて有効に活用して、本当に市民のためになるような行政のあり方、そのためにはやはり市民皆さんのお声、そして何が必要なかということについての率直なお考えというものを、やはり常に耳をすませて、傾けてお伺いしていかなければいけない、このように思うわけでございます。これまでこの計画についての策定取り組みの中で、先月からでございますけれども、まず各種団体別の懇談会という、地域で活動されております団体の代表者様と分野別に3日間行なわせていただきました。そしてまちづくりフォーラムということで先般サニープレイス座間の多目的室にて、やはり同じような意見集約の場をもたせていただいたわけでございますけれども、色んな角度から色んなお立場から示唆に富んだご意見を沢山頂戴しております。まずは私ども行政の立場で考えておるんでございますけれども、実際にその行政のサービスを受けられている皆さんにとって、そしてこれから座間を共に作っていただくという皆さんにとって今後こうあるべきだということについて、率直な意見をまず伺っておきたい。そのために今回市内6地区に分けて懇談会を開催させていただき、色々な多様なご意見また地域ごとに違ってお考えもあるかと思えます。そうしたものを集約をさせていただいて、それをまた咀嚼をさせていただき、計画の中にテーマの中に盛り込んでいく。さらにそれをまたご提示してご意見を伺っていく、こうしたプロセスを重ねていく中で、計画を形成していきたいというふうに思っておるわけでございます。そうしたことから今日これからまず私どものほうで今取り組んでいることについての概要の説明をさせていただき、その後はどうか皆さんのほうから忌憚のないご意見をここで出していただいて、それを受け止めさせていただ

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	3/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

く、それを今後に向けての取り組みの私どもの糧にさせていただき、そうした場に今日はさせていただきたいというふうに思うわけでございます。これから先やはり、地域の中で希薄化したといわれるコミュニティこれについてもやはりきちんと見直しをしながら、ともに手を携えて助け合いながら、そして信頼しあいながら生きていくそしてこのまちに住み続けていく、こうしたやはり基本的な原点にかえった取り組みというのがまさしく必要になるかと思えます。そうしてはじめて今回の総合計画策定についての取り組みというの、まさに市民協働という言葉、私は難しい言葉あまり使いたくないんですけども、やはりともに考えともに歩んでいただくということのひとつとしてぜひ受け止めていただき、今日のこの会合お願いしたいと思います。時間の関係もでございますのであまり長いこともいけないと思いますので、このあたりで失礼いたしますけれどもどうか忌憚のないご意見よろしくお願いいたしたいと思えます。

### 3. 趣旨説明

#### (1) 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明

総合計画の位置づけ、第三次次総合計画と（仮称）第四次総合計画との違いなど、政策課長が説明。

ありがとうございました。それではさっそくですけれども次の議題のほうに入ってまいりたいと思えます。まずこれから皆さんのほうに今回の総合計画の関係につきまして、趣旨説明をまずご理解をしていただいて、その後忌憚のないご意見をいただきたいということで私共事務局のほうから趣旨説明につきましてご説明申し上げたいと思えますのでしばらく拝聴いただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

政策課長の山本と申します。よろしくお願ひします。本日も忙しい中お越しいただきましてあらためてお礼申し上げます。私のほうから趣旨説明それから今までの概要といいますか経緯についてご説明させていただきますが、それに先立ちまして資料の確認をさせていただきますと思えます。まず総合計画の策定の趣旨と枠組みという資料でございます。それから1枚の資料、それからニュースレター1号から2号3号と、全部で3部でございます。それからまちづくりフォーラムと地域別懇談会これは表裏になっています。この3点になります。過不足ございませんでしょうか。なければ趣旨説明といたしまして始めさせていただきますと思えます。座ってご説明させていただきます。まず総合計画につきまして簡単に申し上げますが、地方自治法という法律で策定することが義務付けられているところでございます。市政運営の根幹となる大変重要な計画でございます。現在は冒頭市長のほうからお話しがありましたように平成3年に策定された第三次座間市総合計画というものの実現に向けて市政運営に努めているわけでございます。この第三次座間市総合計画が23年3月をもって計画期間が終了するというところでございまして、現在新しい総合計画の策定に向けて全市をあげて取り組んでいる、そういうところでございます。残すところあと1年半というなかで新しい総合計画を策定していくということでございます。新しい総合計画策定にあたりましては市民の皆様方からご意見等を十分にお伺いしたなかでそれらを計画に反映することで総合計画が市民の皆さんと共有する目的

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	4/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

として定め、1人でも多くの市民の方々がこの座間に住んでよかったと思えるような計画にしたいという考えでおります。今までの取り組みについて簡単にご説明させていただきたいと思っております。本年3月には小学生児童を対象に私の座間というテーマで絵画コンクールを実施させていただきました。500を超える応募がありましてそれぞれふるさと座間を想う気持ちに溢れる作品ばかりでございました。また同月には次期総合計画をどのような方針のもとに作成するのかを明らかにする策定方針を策定させていただきました。4月の18日には次期総合計画策定のキックオフとしてまちづくりシンポジウムを開催させていただきました。125名の市民の皆さんの参加をいただいております。それから新しくというところでは先月の8月20日には座間こども議会を開催させていただきました。座間の未来に向けたまちづくりについて子どもの視点から提言や質問をいただきまして、児童生徒が今後の目標として座間こども議会宣言というものを採択し、発表を行いました。また8月から9月につきましては皆様のお手元にふれるかと思っておりますけれども葉書のようなかたちで、あなたが思い描く12年後の座間というようなテーマで皆様から一言メッセージを募集いたしております。現在のところおよそ2000件のご意見等をいただいている状況でございます。そして9月の28、29、30日の間、各種団体懇談会を開催させていただきました。健康福祉、生活環境、産業労働、それから教育文化というような分野別に、開催させていただいております。それから10月4日には、まちづくりフォーラムをサニープレイスの方で開催させていただいております。これにつきましては、60人ほどの市民の方が、参加いただいております。それから本日、3日目でございますが、14日から22日までの間、6箇所の会場に分けて地域別懇談会を開催させていただいております。これにつきましては、冒頭お話ありましたように、第1回目として開催させていただくもので、2回目としましては、来年、案がまとまったような段階で、また皆様方からご意見等を頂きたい、そのように考えております。また、10月30日から11月12日にかけては市民まちづくり討議会というものを開催予定しております。これはなかなかご発言機会がない方とか市政に関わりがない方々の意見をいただきたいということでございまして、2000人の方に無作為でご案内をさしあげて、参加いただける方にご意見を頂戴しようとする新しい試みでございます。市民の方々に関係することについては以上でございますが、いずれも市のホームページ等で詳細を掲載しておりますのでご覧になっていただければと思います。また本日お配りした次期総合計画のニュースレターにつきましても、これもホームページ等でご紹介さしあげております。また自治会回覧をさせていただいておりますのでご覧になっていらっしゃる方もいらっしゃるかと思いますけれども、今後も広報座間やニュースレターなどで総合計画策定にあたっての進捗についてお知らせ差し上げたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。それでは本日配布さしあげました資料についてのご説明に移らせていただきたいと思います。まず1ページ目の策定の趣旨でございます。これについては総合計画の定義と経済環境など市を取り巻く環境の変化などに対応する計画をしなければならない、それには何が必要かというようなことを記載しております。地方自治体と市民との協力のまちづくりを進めていくには具体的でわかりやすくする必要があるのであるということを記載してございます。簡単に第三次総合計画の期間中に主だった影響のある情勢の変化をここに示しておりますが、平成4年にはバブル経済の終焉を迎えた、そ

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	5/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

の後10年については失われた10年と言われているということでございます。平成12年には地方分権一括法というようなことで分権の礎となる法律が制定されております。それから平成17年には日本の総人口の減少が始まっている中で少子高齢化社会の到来、三位一体の改革があって財政の硬直化を招いている。これは直接座間市には関係ございませんが平成の大合併ということで平成11年3月現在では3232自治体が、来年3月には1753自治体になるかというような変化がございます。本市の特徴・特別なものとして平成7年には自動車関係企業の閉鎖：生産レーンの閉鎖というような大きな出来事がありました。そういったことを踏まえて今後の策定にあたらなければいけないというふうに、見えない先の長期的な視点にたって今後の総合計画を策定していかなければならないということになります。次の計画構成期間でございませうけれども、このような策定趣旨を踏まえて、次期総合計画の計画構成期間などを記載してございます。従前の総合計画の計画構成ではこのように基本構想と基本計画、実施計画という三層の計画でございました。次期総合計画ではわかりやすくするために基本構想と実施計画という2つにいたします。またより具体的に重点的に取り組む計画としまして戦略プロジェクトを策定し、明確に示すことにしました。次に2ページでございませうが、座間市の人口は現在微増を続けている状況でございませうけれどもまもなくそれも終焉し、人口が減少していくだろうと記してございます。年齢別の将来推計では65歳以上の高齢者の占める割合が、高齢化率と申しますが、急速に高まってきておりましてまして本市では他自治体と比べてそのスピードが速いと記載しております。これが将来的な推計でございませうけれども高齢者人口と年少人口の間が開いていって、なおかつ生産人口の間が縮まってきている、高齢化に向かっているというところでございます。3ページ目の土地利用につきましては、地域の17.58㎢のうち市街化区域が71.3%を占め、県央地域では大和市に次いで2番目に市街化区域率が高い。そして住宅・商業・業務用用地が増加しており、工業・農業用地が減少しているとそういった現況を記載してございます。次の4ページから5ページにつきましては、分野別の特性と課題を記載してございます。①としまして健康・福祉分野、②としまして市民参画・コミュニティ、③としまして教育・生涯学習・スポーツ、④としまして都市基盤整備、⑤としまして環境・廃棄物、⑥としまして産業、⑦としまして行政経営、以上の分野の特性と課題を記載してございます。内容につきましては記載の通りですので省略させていただきます。次の6ページでございませうが、これにつきましては人口減少社会、高齢化社会の進展、地方分権から地域主権社会へ、ソーシャルマネジメントの時代へ、低炭素社会の具体化、情報化の進展、社会と経済・雇用構造の変化、グローバル化とフラット化の進展、安心・安全の確保、教育環境の変化と教育改革、そのような社会潮流をパワーポイントにまとめてございませう。最後に7ページでございませうけれども、実効性のある計画に向けてとして3段目に記載してございませうけれども、市民の皆様が共通して目指すことが出来る将来都市像や市民生活像を明らかにし、市役所と市民とこの役割分担を明らかにする計画として策定すると記載してございませう。予測できる社会から不確実な社会への対応それから地域社会の目指す将来像が市民基点で目標が明確というようなことが記載してございませう。この将来都市像の案としまして最後にこのページ1枚でございませうが、ここに示させていただきます。1としまして、健康への取組み 安心 健やかなまち、2番目と

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	6/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

しまして、自立 めくもり 支えあうまち、3番目としまして、共に考え 共に歩む 安心のまち、4番目としまして、豊かな心 明日への希望 育みあうまち、5番目としまして、安全 憩い 快適なまち、6番目としまして、おいしい水 安全な水 衛生的なまち、7番目としまして、環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまち、8番目としまして、未来志向 的確な判断 確かな希望をいただける経営、9番目としまして、市民基点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所というものを将来都市像の案として掲げさせていただいております。今後この将来都市像を市民との皆さんのご意見等を伺いながらまとめ、さらにこの将来都市像を実現するための市民生活像はどうあるべきでどのように実現していくかということを今後明らかにしていきたいと考えております。以上で私の説明を終わりにしたいと思います。

## (2) 都市計画マスタープラン趣旨説明

都市計画マスタープランの位置づけ、改定の目的など、都市計画課長が説明。

つきまして総合計画と非常に密接に関係してございます都市計画マスタープランの関係につきまして都市計画課長のほうからご説明さしあげます。

はじめまして都市計画課長の森田です。どうぞよろしくお願いたします。本日はご多忙のところご出席いただきましてあらためてお礼申し上げます。それでは私のほうから都市マスタープランについて趣旨説明をさせていただきます。それでは私のほうから法律的な位置づけも含めこちらのお手元に配布させていただきました都市マスタープランとは、という資料に基づきましてご説明させていただきたいと思っております。それでは1点目の都市マスタープランとは、からご説明させていただきたいと思っております。各市町村が作成します都市マスタープランは市町村の都市計画に関する基本的な方針として都市計画法第18条の2に定められている法的な計画になっています。都市計画の内容としましてはここに書いてありますとおり、土地利用の規制誘導、道路や公園等の整備、自然環境の保全などまちづくりをするうえでの基本的な計画となります。計画の策定にあたりましては総合計画と則することが定められており、また市民等の意見を反映させることも併せて求められております。座間市都市マスタープランを概念図で示しますとこのような図となります。国・県の計画、市の計画これらを受けて座間市都市マスタープランを作成します。これに伴いまして都市計画の分野別計画、具体的な都市計画としての決定事項が都市マスタープランによって定められます。次に2点目としまして座間市都市マスタープラン改定の目的としましては、現在マスタープランは、平成13年に策定させていただきました約8年が経過しております。この間都市計画法の改正や景観法の制定、総合計画の説明のなかでも触れられておりました少子高齢化の進展や経済情勢、激変する社会潮流等このような背景を踏まえ現計画を検証し、検証した上で時代に即した計画とするための改定となります。なお、計画の策定に当りましては、関連計画との整合に充分配慮して行なってまいります。3点目の次期計画の計画期間ですが目標年次としましては、総合計画と同じ平成32年度を予定しております。4点目の座間市都市マスタープランの構成としましては市内全域を対象とした

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	7/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

全体構想と市民に身近な地域を対象とした地域別構想、及びこれらを実現するための、実現化方策を定めさせていただきたいと思います。全体構想としましては将来目標、都市像の設定をさせていただき都市づくりの方針を定めさせていただきます。地域別構想としましてはおのおの地域の都市づくりの方針を定めさせていただきたいと思っております。これらの構想を踏まえまして実現化方策として都市マスタープランを推進するための方策を定めさせていただきます。なお、都市マスタープランは総合計画と密接に関係しておりますので次期総合計画と連携をとりながら進めさせていただきたいと思います。以上が都市マスタープラン改定の趣旨説明となりますが、いずれにしましても各種団体との懇談会や今後予定されております各種市民参加の過程で幅広い市民の皆様からのご意見等をお聞かせいただき、都市マスタープランへ反映させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。以上で私の説明は終わります。ありがとうございました。

#### 4. 意見交換

##### 【市役所】

それではただ今から意見交換に入りたいと思います。意見交換につきましては、限られた時間の中で懇談会を効率良く円滑に進めるために、総合計画策定のノウハウを持つパシフィックコンサルタンツに進行支援をお願いしておりますのでご了承願いたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。それではお願いします。

##### 【コンサルタント】

こんばんは。ただ今ご紹介あずかりましたパシフィックコンサルタンツと申します、齋藤と申します。よろしくお願いいたします。先程最初に市長さんからご説明有りましたとおり、私共、市役所の皆様、そして市民の皆様がこの計画作りをしっかりと出来るようにサポートするそういうような役割でございますので、今日のお話し合いを受けて我々が計画を作りこんだりとか、そういうような役割ではございませんので、あくまで円滑にお話を出来るような司会進行をさせていただきたいと思っております。今日とはいいながらあと実質色々皆さんのお話を聞くのも1時間ばかりですね、時間はないと思っておりますので、出来るだけせつかくこの時間に参加していただいておりますので多くの方に、特に今日は1人一言ずつぐらいいただけるんじゃないかなというふうに思っておりますので、ぜひとも活発なご意見をいただきたいと思います。それと今までいくつも提言がある方がいらっしゃると思っておりますので、そういう方はまず最初に主なもの1つ2つを言っていただきまして、その後一通り他の方がご発言いただいたあとにお時間のある中でまた再度ご発言いただきたいと思いますと思っております。よろしくお願いいたします。それでは先程説明ありました将来、総合計画に向かって新しい市民像、こういうまちになっていこうというような大きな今市のほうの考えている方向性の中で、方向性ございますけども、それを踏まえながらも、もしくは日常皆さん考えられている色々な課題とか問題点、色々あると思っておりますのでどうぞせつかくの機会ですので皆さんからご発言をいただきたいと思います。それと

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	8/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

会場狭いんですが議事録を録る関係でどうしてもマイクを使っていたきたいと思いますので、マイクがくるまでご発言を待っていただきたいと思います。それではまず最初に口火を切っていただきまして、せっかくですからどうぞ皆さんお話し下さい。手を挙げていただけますと助かりますが、ご遠慮なくどうぞ。

#### 【参加者】

こんばんは。高齢化率が上がっているということで、やっぱり高齢化になっても元気でピンピン寝たきりにならないのがいいかなというふうに思いますので、そういう高齢になった方たちの体操というか、何かそんなのがしてもらえたらありがたいかなと、コミセン使って色んな催しありますけれども、年代とかそういうのは関係なく行われてますので、それがあつたら嬉しいかなと1つ思います。それから私ここに住んでますので、毎日歩いて行って相模原市のほう、林間公園というのが小田急線路沿いにあるんですけども、そこに高齢者優先にお使い下さいという器具が7台ぐらい置いてありまして、朝行っても昼行っても夜行っても、どちらかというとな配の方たちが使っていますけど、私も歩いて行ってそこで器具を使って体操をして、帰ってくるんですけども、そういうのもあつたら嬉しいかなと。ここの地域はちょっと公園も少なくて座間市の市役所のそばには公園もいっぱいありますけど、ここら辺はマンションが出来てそこに公園がついたみたいな感じの公園しかないんですけども、そんな器具も置いていただけたら散策したりそういう器具を使って体操が出来たりして嬉しいかなというふうに思っております。以上です。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。今の高齢化に向けて体操したり、健康に元気を維持するためのそういうものを作っていたきたい、そういうようなご提言だと思います。色々皆さんからいただいた意見最後に、今後これから検討するというのを聞いておりますので、今後どういう方向性で検討するかというのを最後に市長さんのほうからいただくということで、一問一答にはならないと思いますけども、よろしく願いいたします。どうでしょう他の方、せっかくですのでじゃあ。

#### 【参加者】

こんばんは。今の話に関連したことなんですけど、桜並木、遊歩道がありますよね、それが小田急線と行幸道路で切れてるんですよね、遊歩道が。出来ればあそこは橋を架けるなり、地下を掘るなりして繋がれば良い遊歩道になるんじゃないかと思ってるんですけど。以上です。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。身近な都市計画マスタープランの改定もありますので、身近な話題もそういうなものも含めてどうぞ活発にご発言下さい。



件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	9/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

### 【参加者】

こんばんは。〇〇と言います。2点ほどお願いしたいと思います。1点は高齢化の問題が出ましたけれども、第四自治会なんですけど、1800世帯ありまして、毎年70歳以上の方に敬老の日のお祝いをさしあげているんです。これは自己申告ですのでそれ以上あるということで、今年は605名70歳以上の方がおられました。90歳以上の方が21名、100歳の方が2名ということでかなり高齢化が進んでると。ですから約1800世帯で600人以上が70歳以上という、いかに高齢化が進んでいるかということで、当然それについては1人でお暮らしになっている方もおられますでしょうし、その場合は外に出て行くことは少ないということに、独居ですね、今孤独死も結構叫ばれていますけどもそういうことに対して行政のほう、どういう今後考えをお持ちになっているかということをお聞きしたいということでございます。それとまちづくりなんですけれども、人口の減少ということがあったんですけども、市長もよく言っておられますけど、本当に地元が主体ということで、沢山の観光名所といいますかそういうところが、こういう個性が沢山あると思います。そのPRが少ないということと同時に、人口の歯止め、減少の歯止めをどのように考えておられるか。特に今後発展するということになれば、人口増加するためには少し相武台あたりがメインになろうかというふうに思います。小田急相模原については殆どあれ以上大きくならないと思いますし、どうしても中心部は相武台駅前辺りじゃないかということで、それを基盤体にしてぜひ人口の増加ということを考えていただきたいと思っております。それについて行政のほうどういう将来像を考えておられるか、それも知りたいというふうに思っております。以上でございます。

### 【コンサルタント】

ありがとうございます。独居の老人の方に対する今後の対策の方向性とか、観光名所のPRの話とか、人口を考えたときの、今相武台という駅が出ましたけれどもどういう開発をしていくか、どういう考え方があるのかというお話ですね。これも最後現状でお話ができることがありましたらお願いしたいと思います。その他どうぞせっかく、今手を挙げていただいた方お願いします。

### 【参加者】

相模銀座商店街の床屋のおやじ〇〇と申します。どうぞよろしく申し上げます。私どもの地域は小田急相模原駅周辺のまちづくりというタイトルで第三次総合計画の終わりに近づいて、あと1年ですか残ってますね。この間に全部開発計画が終わるのかどうかわかりませんが、今A街区の開発が一応終わって、B、Cと順次移るだろうと思っております。その中で私どもが気がついたことなんですけれども、開発計画の中には商業の活性化ということは当然含まれてると思うんですね。座間市の中でも有力な商業地域なほうと思います。この商業地域が活かされるような開発計画が行われているのかと、これは私ども直接の地域の者ですから、今まで話し合いの中でも行政のほうとも色々話し合いをさせていただきました。その中で非常に風俗が多いものですから評判が悪かったと、これは私どもにとっても恥ずかしい話なのですが、

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	10/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

まさかあんな商店街になるとは思っていなかったと。それをなんとかまともな商店街、地域にしたいという意味もありましたからこの開発計画には私は大賛成でいました。ですから推進役としてもそのような動きをしてまいりましたけれども、商業の活性化という部分については、あまりそうした方向に力点を置いてないんじゃないかと、考え方によってはあの地域で一戸建てがいくつあったかはっきりわかりませんが、50戸ぐらい仮にあったとしますと、そのABCの中で約300戸近いマンションによって人口が、世帯数が増えると大きな税収をもたらすという意味ではよく理解出来るんですけども、同時に商業地域というそういう指定を受けている地域ですから当然もっと密度の高いそうした開発計画を行っていい地域だと思っていましてけれども、決してそういう方向にはないということで、そのことに対して私は大変不満を感じております。これから開発計画が順次、相武台あるいは座間の駅という方向に移るのかもしれない。最初の開発地域として小田急相模原地域が取り上げられたわけですけども、今のこの状況を見ていると、座間というのは商業の活性化ってことはあまり重要視しないんじゃないかと、同じ人口規模の海老名で12万8千ちょっと、座間で12万8千やはり弱ありますでしょうか最高、これ数年前の話ですよ、こういう人口になったのは。それから人口が伸びてないというのも何か理由があるのかもしれないけれども、地域性とか色々条件が違いますけれども、海老名の開発状況見ますと、大変な変わり様だと。そして将来わくわくするような、夢があるようなまちになるのではないかなと、そういうような気がします。正直座間に住むよりは海老名に住みたいと、もし場所を探したらそういう方がむしろ多くなるんじゃないかと、そんな気がいたします。近隣の都市に比べて不況の中で駅のない綾瀬ですか、それに比べても座間の商業のこの活気の無さ、これは商業活動やっている皆さんの話を聞くとそういうことよく聞きます。何か行政のほうも市政がそういうところにあまり力点を置いてないんじゃないかと、これもある意味ですね。そして公園とかそうした問題もありますけれども、先程もお話が出てましたけれども人口がいちばん増えていく、増加率の高い相模が丘公園も、広場も少ない。座間全体では決して少ない方じゃないですよと、こういうことは言えますけれども、これは当然バランスの問題もありますから地域にあった、人口増加にあったやはりそうした整備はするべきではないかとそんなふうに思っております。特に野球場が1つ早めに出来ましたが、中学のそばにですね。野球場は川原のほうにもありますので個人的に言えば、地域のみなさん若い所帯、子どもさんのいらっしゃる家庭もだいぶ増えてますので、私はそちらのほうをもう少し有効活用したらどうだろうか、これは提案なんですけれども、多目的に公園のようにして、野球をするだけで稼働率そんな大したことはないわけですから、むしろ公園のようなかたちでみんなが子どもたちが集まったり、お母さん方があそこへ出て行って子どもを連れて行って遊べるような、そんなような使い方をむしろしていただければありがたいなと、そんなふうに思います。色々ありますけども長くなりますので。よろしく申し上げます。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。後ほど、もしお時間がありましたら、また続きをお願いしたいと思います。それではお隣の方お願いいたします。

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	11/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

### 【参加者】

こんばんは。相模が丘の〇〇と申します。今相武台の駅の周辺がきれいに道路が整備されていますけれども、それと関係あると思うんですが、緑ヶ丘都市計画道路の緑ヶ丘林間線の都市計画道路はどうなってるかということをお尋ねしたいんですが、計画からそろそろもう40年経ちまして、今の現状と今後の見通しですね。今市長さんから見通しの出来ない時代と言われたんですけども、ルートが変わるとか計画が没になるとか、それから十何年経って完成出来るとか、だいたいの見通しが私たちは知りたいんです。近所の方も皆さんそうおっしゃってますので、よろしくお願いします。

### 【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは最後に今後の話は市長さんからございますが、現状の都市計画道路とかそういうあたりのもし考え方とかあれば、後ほどまたいただきたいと思います。それでは続きましてどうでしょう、他の方。どうでしょう、お話しされていない方もしくは、お時間まだありますので先程の補足、追加も結構だと思いますがいかがでしょうか。どうぞお願いします。

### 【参加者】

まちづくりのことなんですけれども。情報公開というか私ども、ABCと3の街区を開発したときに全体像としてどういうふうになるんですかと、そのことを強く申し上げてきました。全体像がわからない、A街区には何十戸の住居のスペースが出来て、その下には店舗がいくつ出来るんだと、デザインはこうなんだと、そういうようなもっと具体的なわかりやすい情報出していただかないと、賛成するもしないもなかなか、そこいらがわからないと態度は決められないという部分がありました。そういう部分でこれからB街区がこういうふうになるというのも、B街区の地権者に対してはもちろんお知らせをしてるし、配布物もすると思うんですね。最初勉強会の段階ではそういうことをしていただいたんですけども、今度部外者となれば情報が入ってこなくなります。これでは再開発はスムーズに行うということは非常に難しい。それから当初の目的としては、風俗はともかく1軒もなくそうじゃないかという地元の我々の声はそうだったんです。ところが開発の途中であそこは風俗が地権者として買い取っちゃったから、そこは残すんだと、そんなことを聞いているわけです。それじゃあせつかくみんなで土地を道路拡幅のために提供しながら、協力をしようという意思で一生懸命やり始めたことが、途中で変わっていく。商店街が過去に50店舗ぐらいの店名がありました。しかし今はその半分です。今は開いてる店なんて本当のわずかです。ゴーストタウンです。昭和41年に私伺いましたこのまちにお世話になったんですけれども、当時から考えてみても全く活気がなくなりました。こんなかたちがずっと続いてたら、皆さんやはりお店が思うようにいかないから辞めていってしまう。悲しいけれども、30年40年経ったらよくなると思って私たちは頑張ってきたつもりだけでも、その方向に行かないということは大変つらいです。ぜひひとつ行政としても、買

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	12/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

い物はみんな町田、相模大野あるいは海老名に行くなんてことにならないように、時代がこういう時代ですし、規制緩和の流れの中で小さなお店は割を食ってるわけですから、しかし何か手立てはないか、歳をとった人がみんなスーパーまで車乗って行ければいいですよ。しかし住んでるそばに商店がなくなったらどうするんですか。やっぱり生活に必要な生鮮三品が近くで買えれば助かるお年寄りいっぱいいます。そんなことがなおざりにされてはいないかなど。座間が好きで一生懸命座間の人間になるために今までやってきましたけれども、今本当に裏切られたような、何か期待はずれだったなというようなことが実感としてあるわけです。うちの子供も座間が実はふるさと、ここへ来て子どもが生まれました。ですから子どもたちにとっては座間はふるさとなんです。そういう人たちが沢山いるわけです。座間を誇りに思える座間にしていきたい。そういうことをお願いしたいと思います。ありがとうございます。

### 【コンサルタント】

ありがとうございます。先程商業の土地利用の話から、そういう話と、さらにもう少しいきまして、建物の中の個別の誘導をどうするかとかそこまで密な話をいかに出来ないかというようなあたりの話もありましたので、そういうことも含めて今までのお話、あともう数名いただきまして、一度市のほうからも現状で何かお答え出来る話がありましたら、お答えいただいて、それでお終いじゃありませんので、そこでさらに出来ればまた次のステップに向けて皆さんのお知恵をいただくと、こうしたらいいんじゃないかという発展的なまたご意見もいただけるといいと思います。今日は多分まだその時間もまだあると思いますので、そういう進め方をしたいと思います。準備よろしいですか、お願いいたします。

### 【市役所】

座ったままで失礼させていただきます。都市部長の和田と申します。よろしくお願ひいたします。私のほうの関係で再開発の関係とか、また公園の関係とか沢山ご意見、ご質問いただきましたのでそういったところ説明を出来るところをさせていただこうと思っておりますけれども。まず相模原市の林間公園や高齢者の優先の器具がある市ということで、ぜひ座間市にもというご発言あったと思います。これから高齢化社会当然迎えることでございます。私の都市部だけで進められることではございませんが、こういう社会に向かっていくなかでの必要性というものは十分感じているところでございますので、今後そういうことも踏まえた中でしっかり検討していきたいと思っております。それから桜並木が小田急線と行幸道路で切れる、これがなんとか繋がらないか、これは大変難しいお話かと思っております。まず小田急線、本当であればこの小田急線の高架というの、地下に潜っちゃうと座間市全体として分断がなくなっていちばんいいんでございますけれども、これは大変莫大なお金がかかることで、なかなか簡単に出来るお話ではございません。これは将来的な課題として受け止めさせていただきたい存在かなと思っております。それから相武台前駅の発展として、緑ヶ丘林間線の都計道という話、これは市道5号線という相武台前駅の南口の道路かと思っております。その一部南口の商店街の部分、こちらにつきましてはその都市計画道路の幅で今整備をしておりますが、これは都市計画道路という手

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	13/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

法で整備はしておりませんで、バリアフリーという手法で整備を一部行っております。現在都市計画道路という整備になりますと、例えば11mという今計画幅がございますが、これは今の道路構造令では狭い。もっと広くする検討とか、色々課題が出てきて進まない部分がございます。そういう中で出来るところからということで、都市計画幅の11m幅で現在、商店街があったところ、今まで歩道がなかったところの整備をまず進めているところでございますので、まずはそちらの部分を生懸命やっていきたいと思っておりますのでございます。また相模銀座のA街区、B街区、C街区いわゆる相模銀座周辺地区のまちづくり協定というものがまず最初に出来たんでございますけれども、これにつきましては〇〇さんに一方ならぬご尽力賜りましてまことにありがとうございます。おかげさまでもちましてそのまちづくり協定の位置づけに基づきまして、再開発といいましても、これはいわゆる民間優良再開発という手法でございまして、法定再開発というような市が主導をある程度とっていく手法とは違いまして、民間の地権者さんの100%合意の中で行える再開発ということになっています。その基になったものが相模銀座周辺地区のまちづくり協定でその中には当然、風俗を除外したいという地元の皆さんの強い要望がございました。また木造の住居併用の2階建ての古い建物が密集していて、火災が起これば延焼の危険が大変多い、そういうところでの防災対策、こういうものもひとつあったかと思えます。そういうなかでまちづくり協定が出来て、おかげさまをもちましてA街区につきましては、完成して、B街区といいますのが、今15階建てのビルが建っております、A街区の北側の道路を挟んだ線路側の区域になります。こちらにつきましても話が今順調に進んでおりまして、来年解体、再来年からは建物の着工にかかれるかなというような状態でございます。そういう中で商店の建物がどんどんなくなってしまう、私もそのように大変残念に感じているところでございます。この手法の説明をさせていただかなければいけないんでございますけれども、これは100%合意をされた地権者さんのなかでいわゆる権利変換というものが行われます。土地、建物を持っていたその価値に応じて新しい建物のなかで床をとっていくという手法になります。そのなかで当然商業地域でございます。私どもとしましても、従前どうにも商業床として皆さんにとっていただいて、更なる活性を目指すところでございますけれども、地権者さんの中には、今まで商業されていた方のなかでも商業床をいらないというような方もいらっしゃるしまして、1階部分だけを商業床で埋めることの協議すらも非常に困難な状況があるというのが現実でございます。事実現在まだ店舗が1階の中に全て入っていないような状況でございます。B街区につきましても商業地域でございます。1階2階3階と、そのへんがどんどん商業で商店で埋まれることのほうが望ましいんでございますけれども、やはりその地権者さんが望んでいるのがございます。地権者さんがどういう意向を持ってどういう権利変換を望まれるか、この部分につきましては私どものほうであまり口出しの出来ない部分になるものでございますので、ある程度いたしかたない現実になるかなというふうに思っているところでございます。それから風俗が除く目的だというのが残っちゃうということでございます。あくまでもまちづくり協定は紳士協定でございまして、これに対しましては、拘束力はあるものではございません。また、まちづくり協定でございますから入っていらっしゃる方もいらっしゃると思います。そういうなかで協定に賛同していただけるなかで建て替え等があったら、道

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	14/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

路から例えば1m下がりましたとか色々なお約束事を決めてまいりました。そういう中でA街区、B街区というのは優良再開発という手法でやっておりますから、これに対しては市の補助をしている。補助をする条件としましては、教育関係によくないものは入れない、ということがございまして、そういう中には風俗は入らないというふうになります。ただ個人で建て替えされる中にはいらっしゃるかと思います。そういうところまでは縛れない、強制出来ないのが現状でございます。ご理解を賜りたいと思います。ただ確実に今の段階で従前よりは減ってきている、そうは思っております。申し訳ございませんB街区の解体を来年度からと私言いました。今年度から着手をするということでございます。訂正させていただきます。あとまちづくりB街区の情報が入らないということでもいただきました。それにつきましては、まずまちづくり協定がございまして、その中に建つものですからまちづくりの委員会さんがあって、そこにも図ることになっているかと思います。また市としましては、これは開発行為になります。開発指導要綱に従った指導ということになりますので、今後の話になります。まだこれからになるかと思いますが、当然周辺の地権者さんへの説明、そういうものを求めていくことになります。ただその前にそのまちづくり運営委員会さんのほうに全体像のお話はこれは私共のほうも持っておりません。これはあくまでも民間再開発でございまして、私共がどうしたいということじゃなくて、地元の皆さんでどうしたいかということで決まっていくものだと思っております。ですからA街区、B街区がある程度出来まして、これからC街区。これも私共のほうとしては当然必要だと思っております。ただC街区にはC街区の地権者さんの方がいらっしゃいます。そういう地権者さん方とお話し合いを重ねる中で、どういふかたちでいきたいのか、その中には当然市として考え、市はこうあればいいと思っているというようなお話もさせていただきますが、やはり地権者さんのご意向それが第一にあるものだと思っております。当然ちょっと抜けた部分があるかと思いますが長くなっておりますので割愛させていただきたいと思っております。

#### 【コンサルタント】

それでは他の案件でもしお話がありましたら、せっかくですのでまた皆さんのほうからもご意見いただきたいと思っておりますので、お願いいたします。

#### 【市役所】

保健福祉部長の田中と申します。何点か高齢化社会に向けての方向付けというかたちでご質問をいただきました。現状先程総合計画の前段の説明の中で人口的には減少傾向でというような説明があったかと思いますが、私どものほうの高齢化率ということで申し上げますと、20年度で17.3%これが約22603人というような高齢化率でございます。これを3年ごとに計画を立てさせていただいた数字で申し上げますと、21年度で19.5%、22年度で20.2%、23年度で20.8%という予測を立てさせていただいております。いずれにいたしましても、高齢化率が高くなっていくという現状はございます。こんななかで高齢者が安心して市内でお暮らしになれる方向付けとしまして、まず健康づくり、それから介護の予防の推進、こんなことを目指して計画を

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	15/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

進めさせていただいているところでございます。20年度に医療制度改革もございまして医療を受けるよりは予防を重視した方向付けというのが求められてきてございます。そういった意味で壮年期から健康づくりのため、生活習慣病、メタボリックシンドロームとってございしますが、その他色々な疾病がございしますが、そういった予防及び健康づくり、こんなものがまずひとつ考えられるかと思えます。それからもう1つは安心して暮らせる高齢者の環境づくり。これは先程公園の整備そういったものも含めてご質問がございましたが、高齢者が寝たきり、身体障害、それから1人暮らしの高齢者、こういった方々が地域におけます自立した生活を出来るような支援策の充実、この旨が求められてくるかと考えております。3つ目といたしまして、生きがい、社会参加こういったものの促進、こういったものも必要になるかなというような考えもございします。高齢者の生きがいづくり、それから社会参加の場の確保といひますか、こんなものが高齢者自身が地域社会の中で自らの経験と知識を生かしていただきまして、積極的な役割こういったものを果たしていただくような社会作りなどが求められるようになって社会づくりというものを目指していきたい、このような考えでございします。最後ですが、地域で支えあう仕組み、こういったものも高齢者、必要となってるような考えでございします。高齢者介護や支援が必要な状態になりましても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように高齢者を地域全体で支えあう体制づくり、こういったものが求められてる、こんな状況が現状求められてるのかなと思ひますけど。以上でございします。

#### 【コンサルタント】

今市からのご説明ありましたが、土地利用とかそういう開発の話はご質問されていた方ですとやっぱり個人の権利も含めてですけどいかにそこを上手くやるか、行政の個人権利と行政がどこまでいけるか、その狭間が今悩ましいところでどうだろうかというご質問でもあったと思ひますので、せっかくですので、今のそれこそルールではこうだけでも、こうやったらもしかするともっとまちづくりを皆さんで市も、また地権者の方も上手くいけるんじゃないかとか、そういうご提言などあればまたいただきたいと思ひますし、高齢者のお話につきましても予防とか健康維持管理ですね、今そういうふうに向かっていくということでしたので、それに向けて皆さんのほうから、じゃあこういうことをやったらいいんじゃないだろうか、もしくは市民はこういうことを今やってるんだよというような話ですね、自治会さんのほうでも多分独居老人の方の対策などもやられてるかもしれないので、こんなことを行政やってくれると地元はやりやすいんだとか、そんな話も含めてもう一度お話を聞く時間まだありますので、どうぞ補足や追加、また別の話題でも結構ですのでどうぞお話しただければと思ひます。

#### 【市役所】

すみません、質問がすぐ出ないようでしたら先程ちょっと答弁し忘れた部分がございます。公園機能が少ないというご意見いただいたところでございします。相模が丘地区、こちらは都市計画制度ができる前にどんどん住宅が出来ちゃったところで、私どもも公園緑地が少ないのを重々承知をしているところでございします。そのなかで市のほうとしましても、緑の基本計画と

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	16/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

いうものがございまして、その中で相模が丘地区の緑化重点地区という指定をさせていただきまして、今年度のカーサの自治会のある広場、あそこは借地でございまして、その用地買収をさせていただいております。借地の広場、いつまでもお借り出来ればよろしいんでございますが、地主さんのご都合で返さなければならないような状態がございます。そういうことで緑地広場の確保ということで一生懸命動いて、全部あそこのカーサのそばの相模が丘4丁目自治会のとこの広場ですね、その用地につきましては今年度をもちまして全て買わせていただくことが出来ましたので、今後はこちらが座間の広場から座間市のちゃんとした都市公園という位置づけになろうかと思っております。ご理解賜りたいと思っております。

### 【コンサルタント】

どうでしょうか、補足もしくはそこはそこで現状はわかるんだけど、ここはもうひと工夫してほしいとか、そこはこうやってくると市民が動きやすいんだとか、多分今日ご発言いただいた方現状でこれでいいというわけじゃない視点でご発言いただいていると思いますので、変えるためにどうするかとか、せつかくですの前向きにご発言をいただければと思いますが。違った話でもけっこうですので、どうぞ。

### 【参加者】

度々恐縮です。桜道のことなんですけれども、遠藤市長さんになられてからですか、大きな予算をとっていただいよいよあそこを公園化するという方向で動いているというふうに聞いております。私はその桜道の会の会員ではあっても役員ではございませんので逐次知ってるわけじゃないんですけれども、そういうお話を聞いたときに、あれだけ長い距離を公園化するというのはもの凄い莫大な金がかかるだろうと、一体どれぐらいの期間をかけて全体をそのようにしていくのかなということを心配してました。私どものお客さんでやっぱり建設会社やなんか勤めてる上場企業のお客さんなんかもあるもんですから、ちょっとそういうところで聞いてみたんですね。木を植えたり、狭い10mあるかないかの幅のところ公園というのはなかなか難しいと、周りは全部住宅で埋まると、そうしたその住宅の方々の快適さというものを考えるとあまりあそこはうるさくは困るだろうと、やっぱり静かで色々ないい桜道にしたいなと。悪い、腐ったようなとか、中空洞になってたりして危険なものはもう伐採しているという話ですので、じゃあそこへまた代わりの木を植えていくという方向にあるようですけれども、萩や津和野のほうへ旅行に行ったときにいいなと思ったのは、津和野のまちの道路の脇に1mぐらいの小川なんですけれども、そこがきれいな水が流れていまして鯉が泳いでるんですね。あれを見たときに一生懸命歩いたり動いた後だったからやっぱりいいなと、こういうところがあるといいなとそう思ったんですね、そのことを思い出して桜道のあのコンクリート、用水路全部壊して運び出す、その費用たるや膨大な金がかかると建設会社の人が言っていました。だったらそれを生かして、私の個人的な考えですけれども、そこに津和野のように座間の地下水をもし流すゆとりがあるんだしたら、流してそこに水草が生えて、魚が泳ぐなんていうようなことがあったら、あの桜道はもっといいんじゃないかなと、公園、緑と水となんと



件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	17/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

かって言いますけれども、やっぱりそうした意味でもあそこに水が流れたらなというふうに思いました。事故のことか色々ありますから、そのへんはまた工夫がいるかもしれませんが、膨大な予算を使わないで桜道を潤いのある、地域の皆さんから喜んでいただける桜道にするならそれもひとつの方法かなと、そう思ったので発言をさせていただきました。失礼しましたどうも。

### 【コンサルタント】

ありがとうございます。座間といえば水ですので、そういうこともあると思いますが。これからの方向性、事業の具体的な話など、ここでどうのということは多分出来ないと思っておりますけれども、そういうご意見があるということで承っていくということだと思います。どうでしょうか、その他の方せっかくの機会ですからどうぞ、将来に向けてでも結構ですし、今こういうことが解決されると住みやすいまちになるんだろうというようなことで結構だと思いますけれども。前の女性の方お願いします。

### 【参加者】

〇〇と申します。よろしく申し上げます。私は12年ぐらい前に相模が丘に中古住宅を買って座間市民になりました。相模が丘東保育園当時は子どもがいなかったんですけども、子どもが生まれても仕事をしたいという希望がありましたので、相模が丘東保育園で近いということと、駅から比較的徒歩圏で歩けるという立地が気に入って、たまたまそれが座間市内だったと。正直1本道路が向こうだったら相模原市だったのにとあとから思いましたけれども。正直座間市に住んですごく良かったと思えるところがなくて、本当に相模が丘東保育園に近いということが大きな理由だったものですから、それ以外のことはあまりその次だと思っていたのもいけませんけれども、相模が丘に住んで、住民となって気づいたことは、驚いたことですね気づいたというか。まず小学校にプールがない、これにはびっくりしました正直。小学校にはプールがあるものだと思ってましたので、どうしてって、ここで作ってくれという気はないんですけども、なかなか財源がないでしょうから、それよりも優先的な課題があると思いますので、プールがないことについてとやかく言う気はこの場ではないんですがびっくりしました。あと中学校に給食がないというのもびっくりしました。時代とか地域性なのでしょうけども、少なくとも私が小学校中学校のときには両方ともありました。あと相模が丘地区には小児科を専門の診療所がなくなりました。先生が亡くなって、まちの小児科、相模が丘東保育園の園医さんでもあったんですけども、病気のために亡くなられて小児科がありません。これは子育てをするには致命的です。本当にとっても残念です。だから小児科を作ってくれということではないんですけども、先程から高齢社会、超高齢社会というお話が出てますけども、割合の問題なんですよね。要するにいわゆる高齢65歳以上じゃない方の人口が増えれば、必然的に率だけという下がるわけで、じゃあどうやって下げるのかというと、子どもをここで産んでくれれば大抵親は少なくとも1人につき2人いますので、単純に3人人口が増えるという、楽観的にはいかないんでしょうけども、そういった方面に力を注いでもらえたら。もう産むしかない

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	18/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

んですよ。産むかよその自治体から引っぱってくるしかないので、そう思えるまちに、座間市に住んじゃったけど次に引っ越すときは相模原市にしようとか、大和市にしようって思わないようにしてもらいたいと思います。実は私も12年前家を買ったときは、中古だったものですから、様子を見て状況がわかってきたら他市に引っ越してもいいかなと正直思っていました。実は家を今建替えちゃったんですけども、建替えた理由は私働いているんですけども、保育園のあと二次保育を下さる方が近くにいるんです。その人がいなかったら多分私は市外に行ってます。つまり子どもを安心して預けて働ける場所が今、私の個人的な環境で言うと座間市にはあるんです。それは別にファミサポでもなく本当に知り合いに紹介していただいた方がたまたますごく良い方で、生後6ヶ月の息子を週に1回ずつともう10年にわたって、今上の子は小学生になりまして、下の子も、今この時間も実はそのお宅で見えていたからここに出席出来ているんですけども、その人がいなければ多分引越しを考えてたかなと、私のような、これがあるから座間市を出られないって思えるような何か方策を考えてもらえたらと思います。子育てで言うと、とにかく子どもがべったりくっついて働ける仕事は殆どないと思うんですね、もちろんサービス業の方は土日働いてますし、公立保育園でいうとなかなか日曜日開いてるところはありません今のところ。ただし、公設民営なんていうのも流行ってますし、例えば7時までは公設で公営、今まで通り。2つに1つ、3つに1つの保育園は例えば民間の人をいれて、公立保育園の場所を提供して夜間保育をやるとか、休日保育をやるとかっていうこともひとつかなと。既存の施設を有効利用するひとつの手かなというふうに思います。あとファミサポについてはやっぱりなかなか住宅事情がそんなにみなさんよろしくないで、いつでも預かってあげるわという人は、仮に私がもっと高齢になって手が空いてもなかなか常に子どもを迎えられる環境を作れるかというのはなかなか難しいと思います。ただし、スペースがあれば体だけなら別に子どもも出ちゃってるし、旦那さんも帰宅遅い日なんかは、水曜日と金曜日ほどこか場所があればその保育園に迎えに行くとその場所で、自宅でも保育園でもないその場所で帰りを待っててあげるわっておっしゃって下さる人はいるんじゃないかと思うんですね。例えばそういう場所を公立保育園を夜間に使うとか、例えばコミセンの一部を使うとかということだって出来るんじゃないかと思います。結局要望は沢山出られると思うんですけども、お金がかからないことって何ひとつないと思うんですね、なので財源はちゃんと確保しつつじゃないと絵に描いた餅になって、また10年後結局出来なかったねという話になっちゃうので、どうやってそれを捻出するか、お金を捻出しつつそれを適正的に配合するかということを総合的に考えていただければと思います。以上です。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。色々ファミサポ以外きめ細かな、それだけあればいいというわけじゃないといことを色々なことを使いながら上手く住んでいるということですね。

#### 【副市長】

さらに議論を深めるためのきっかけとしてお話をさせていただきます。まず保健福祉部長さっ

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	19/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

きお答えしてましたが、高齢化社会というので今日強制的に言っておりますけど、今お話しのように少子化でもあるわけです。ですから少子高齢化なんか言われてますけど。そういう中でまず高齢化率さっき申しませんでしたけれど、一番最新の座間市の高齢化率 18.3%なんです。今座間市はちょっと遅い状況なんです。県内と比べますと。ですけども、逆に言えばこれは急激に高くなる、こういうことは間違いなく。したがって今の第三次総合計画今やってる終わりの年度までに 20%になるんですね。ですからこれをやっぱり心配していかないといけない。いくつかさっきから提案がございましたように、施設の多目的利用だとか、今おっしゃいましたけど、そういうことというのは考えていかなきゃいけないし、するわけですけども、やっぱり地域で支えあうというお話がございました。現座間市でも社協あるいは地区社協あるいは地域の民生委員さん、色んな方たちの支えがあって色んな施策、例えば独居老人の皆さん、さらには 65 歳以上だとか、お祝いの集いだとか色んな会食会などもやっているわけです。そういうことでなるべく家に閉じこもらないで、外に出ていただくということもまた必要なことだと思います。そしていちばん先お話もありました方、高齢になってもお元気で暮らしていただきたい、これ何よりでありますから、そういう施策をやっぱり次の計画にも、なんらかの表現は別としても入れていくということが大事なかと私も思っております。それとこの中にもおいでになりますけども、高齢者といっても 65 歳以上のカウントしているわけです。法律からいっても。ですから今考えますと 65 歳というような方まだまだ色んなことをやっていただける歳だと思うんですね、昔と違って。実は私 65 歳なんですけれども、こういう仕事させていただいております。元気にやらせていただいております。そういう意味で地域に沢山そういった皆さんおいでになりますから、そういう人たちのお知恵を借りて、やっぱりやってみよう。シルバー人材センターなんかその 1 つだと思いますし、生きがい対策、そういったものもいくつか施策としてやってみよう必要があるなというふうに思っています。それから少子化の問題今出ましたけれども、やっぱりこれ国家の存亡の問題なんですね。ですから国がやっぱりきちっと今後日本の国を支えていく施策、特に今出ました子育ての、総じてご意見とか色んなものも含めて施策を進めていかなきゃいけない、こういうことだと思います。これは地方独自でやってもいいわけですから当然、地方の知恵を出して、色んな施設を多目的に利用するだとか、今出ましたように施設の兼用だとか、そういうこともなんらかのかたちで工夫をしていくということもお金のない中でやってみよう施策なんじゃないかなというふうに思っています。それから桜並木の最初おっしゃってたミキさんのお話ございましたけれども、歴史的なことをご存知の方もおいでになるとは思いますけれども、この辺は北の座間の西のほうと違って、水がない場所がこの辺開墾なされた、その後畑を作った、田んぼが出来ませんから。そういう中で水がないと作物が出来ないということで、相模原地区からずーっときて、皆さんのお住まいのところ相模が丘、そして東原桜並木ありますけども、そこへ灌漑用水を作った。ハタカン、ですから畑地かんがい用水と言うんですけど略してハタカンと呼んでます。それがあとからその日産の前の通りが出来ましたから、そこ下くぐっているんですね浅いほうに。そんなことで歴史的な部分がある。最後にお話がありましたように、津和野のところ私も見てきました。優雅っていいなというのは思ってます。やっぱり水の座間の売りでありますから、上手い表現で何か

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	20/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

出来たらなんて今思ってます。これご回答じゃなくて、最初に念を押しましたように、ヒントとしてお話しさせていただきましたので、さらに議論を深めていただく材料としてよろしくお願ひします。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。せっかくそういうヒントをいただきましたので、じゃあこういう考え方もあるんじゃないか、もしくはこんなこと私だったら出来ますとか色々あると思います。また別の話でも結構ですし、残された時間もわずかですのもう一言二言お願ひしたいと思ひますけれどもいかがでしょうか。予定ではあと10分以内ぐらい40分には一度意見交換のほうは終わりますので、せっかくですから一言言っただけで今日はと思ひますがいかがでしょうか。それでは今手を挙げてお願ひします。

#### 【参加者】

それこそ相模が丘で生まれまして、今私も自分の子どもここで育てております。他に出たことがないからでしょうか、座間市で子育てしててあまり不便だなと、実は逆に感じたことがないんですね。ただ、今北地区文化センターのほうで指導員をさせていただいているんですけども、若いママのお話を聞くと、やっぱりもっと支援センターがほしいとか、公園がほしいという声は沢山聞かれます。とにかく12万くらいの小さな市なんですから、自分たちで良くしようと思えばいくらでも良く出来る、横浜を変えるっていうのはちょっと大変ですけど、座間市を変えようと思えば本当に市民の力で変えていける場所なんじゃないかなという気もしています。高齢者学級のほうも担当しているんですけども、体操とかないですかっていうお話があったんですけど実は沢山、公民館などでは高齢者の体操とかをサークルさんもやっていますし、市のほうも色々なことでやってると思いますので、もっとコミュニケーションをとって、市でやってることを市民の皆様に、私も市民の1人として今日は来てるんですけども、市民の皆様知ってもらえるような努力をまずしていくことがいちばんなのかなと、それぞれ市も職員の方も動いてられますし、議員さんも動いてられますし、市民のほうも沢山の声を持っていますので、これをみんなでコミュニケーションをとりながらそれぞれのこういう場を、意見交換を沢山していくことが大事なのかなと今日はここにきて思ひました。ありがとうございます。

#### 【コンサルタント】

ありがとうございます。どうでしょうか、またもう一言よろしいですか。お時間あれですけど、もしないなかで指名してというわけにもいきませんので、もしなければここで一度残り予定時間に近くなっておりますので締めたいと思ひますがよろしいですか。それでは意見交換ここで終わりにしまして、まとめということで市長さんのほうからお願ひいたします。

### 5. 市長挨拶

今日は昨日、一昨日に比べて冒頭申し上げましたように人数が少なかったので非常に心配し

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	21/26
日時	平成 21 年 10 月 16 日(金)	場所	北地区文化センター

ておったんですが、非常に中身の濃いお話を頂戴したというふうに思っております。本当にありがとうございます。15分ばかり時間を頂戴して所感を述べさせていただきたいと思います。実はここ相模が丘というのは私にとって座間との縁を結ぶまちでございまして、昭和47年に6丁目のほうに私の父が経営している会社が移ってくるのと同時に移ってまいりました。その当時は振り返ってみますと、小田急相模原の南口に当時富士銀行がありまして、イトーヨーカドーがその後出来た。当時富士銀行のところからずーっと相模銀座の前の交差点そして東海相模の通りをずーっと行って、ゴルフ場の角をさらに相模台病院の入り口あれを右に折れて私共のところに進むわけですけれども、信号なんか1つもなかったですね。しかしながら、その時に非常に強く感じたのは、なんて道路狭いんだと思ったんですね、来たときに。色々その後ここで暮らし、また色々なお話を伺う中で今副市長からも話ございましたが、この相模が丘というのは座間のまちの中でシバハラと言われたところなんだと、新田宿それから四ツ谷と、昔は新田宿村、四ツ谷村の皆さんの入会地、相模湖が出来るまでというのは相模川というのはいわゆる水位が8mとか10m高かったという話があるわけですし、相模川のそばというのは水害の常襲地帯だった。このシバハラというのは球根作物すなわち災害にやられたときに、食べなきゃいけない芋を植えたりだとか、あとは戦前はお蚕さんやるために畑をやったりだとか、そういう面では生活の資源として大変な重要なところであったと。戦後の農地改革で二反割れということで農地が、入会地だったものが分割をされてそれがそれぞれの地権者のもとにいて、一方においては新田宿、四ツ谷のほうではもう水害の心配もないし、高度経済成長というものが始まった昭和30年代に手放しやすかった土地だったんですね。ということから比較的早い時期に工場が進出し、また住宅の開発というものが一度に進んできちゃったと。さっきお話しさせていただきましても、都市計画というものが後付けになってしまったという、典型的な首都圏近郊の中での高度成長の波に追いつけなかったというもので結果論でみて、非常に悲劇的なものが残っている地域であるわけでございます。こうした場所というのは今回のこの総合計画を組むにあたって、当然座間市において相武台・広野台地域、相模が丘それからひばりが丘なんていうところもそうなんです。一方において、さっきいちばん最後にお話しさせていただきました。座間というのは本当に小さなまちで13万人弱のまちです。今申し上げた新田宿、四ツ谷ここは座間においていちばん旧来の村落的な景観があるところで、まだ広大な土地が広がって水も豊かで家の前には用水路があるとか。刈り込みは終わりましたが田んぼには稲穂がこうべを垂れている。全くその同じこの4キロ四方のまちで全然違った景観があるわけなんです。これはやはりひとつの典型的な例ですけれども、小さなこのまちの中にそうした両極端のものが混在をしているというのが、まちづくりを進める上で大変難しい課題であるのと同時に、ひとつはこれ両方の住んでらっしゃる皆さんがお互いを理解することによって、これはひとつのまちの括りの中でもって課題の解決をしていくことが出来るんじゃないのかなというふうに思うわけです。これまでの都市計画、そのまちづくりというものはこの第三次総合計画でもそうですけれども、やはり例えば私は戦後生まれですから戦前のことは知りません。しかしながら子どもの頃を考えても道路は砂利道、広い道路もなかった、モータリゼーションというものがあつた昭和40年代以降、そうした中で本当にこの現在のよう都市計画ですと

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	22/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

か住環境というものが現れたのは少なくとも、私今年 52 になりますけれども、私らが物心ついてから以降のはずだった。それだけ短期間にこういうふうになってきてしまった、その間のいわゆる都市基盤整備の中でのハードの部分、建物、道路それからさつき公園なんかの話もありました。あとは人口急増の頃は学校の整備、保育所の整備なんてものがあったわけです。とにかくがむしゃらになってそれをやってきたと、それがここで人口の増加がストップをし、減っていくさらには子どもが生まれてこない、高齢化をしていく。ちょっと待てよと、ここで止まって今あるものを整理をして、もう1回自分たちのまちにとって必要な位置づけをしていこうじゃないか、考えようによってはそれを成さなきゃいけない、またそれを成すことによってまちを高めていくことが出来る時代になるんじゃないかという。当然、いわゆる現役世代、就労人口というものが割合として減ってきます。全体からみて財政は厳しくなる。これはもう間違いない事実だと思います。今ここで今日は国のほうで来年度の概算要求のとりまとめがあって、90兆を超える概算要求となった。これは過去の自民党政権の中で、国もお金がないということから色々な部分で出費をおさえるということから、例えば福祉の分野でも教育の分野でも子育ての分野でも年金の分野でも色々とおさえてきたもの、それを1回解き放ったものが今回のかたちだというように私は率直に思っているわけです。ここで出てきた国においてもこれだけ膨大なお金が必要なんだと言うことを、どう捉えていくのか。当然これは私共の座間のまちにとっても同じなわけなんです。ただそこでひとつ、やはり先程の横浜じゃどうしようもないけれども、座間ぐらいだったらばという話だったと思うんですけども、私もそう思うんですね。13万の市民、市長になって1年ちょい経過しておりますけれども、この秋なんかもちあちこちで行事があります。自治会の皆さん、それから色々な団体の皆さん、サークルの皆さん、色々なイベントを組んでいただいたりまた、ボランティアの活動さらには文化活動、こういったものも盛んに行われています。これは目が届くんですね。これは市民お互いにそうした連帯感を持ってやっていけるんじゃないかと思うんです。確かにこの座間のまちというのは、自己完結型のまちではございません。同じ13万人の都市、例えば地方に行きます。実は私どもが災害時の相互応援協定を結んでいる秋田県の大仙市というまちがございます。ここはもと大曲という市とその周辺の6町1村ですか、これが合併をして大仙というまちになって現在人口が約9万弱だったと思うんですけども、人口としては私どもよりも4分の3しかありません。しかしながら大曲というまちを中心に、中心市街地もあります。周辺地もあります。当然大曲というその中心市街地に向けての求心力がある。当然金ものなんかも中心商店街の活性化が成されているかどうかというのはちょっとこっちへ置いておきまして、とにかくそのまちの中で自己完結的にやっていくという要素があるわけです。そういう地方都市と違って私どもの座間市、この東京横浜近郊のこの衛星都市というのは、この戦後の高度成長の波にしたがって、ここに生を受けてここに住まれた方以外の皆さんが、先程のお話じゃないですけど、たまたま買っちゃったらそこが座間市だったということでこられた方沢山いらっしゃると思うんです。私のところもそうです。そうした皆さんが、例えば以前であればここを最初買って、これをワンステップにして次にはもっと大きな家を買ってと、サラリーマンとしての生活をする中で今、仮の住まいというのはなんですけども、仮の宿としてここを選ばれた方もいっぱいいらっし

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	23/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

ьяると思うんです。しかし、それがこういう今の時代背景、低成長の経済となり、不動産価格なんていうのも、それこそ30年前40年前と考えられない話ですね。当然人口減少になればこれは市場原理が働くわけで、高くなるわけないわけで、不動産と言うのはそれこそ不動産ではなくて今ははっきり償却資産になっちゃっている、である以上はもうここを離れたくとも離れられない人もいっぱいいると思うんです。特にこういう新興市街地においてはそういう方がいいらしいらっしゃると思うんです。私はそういう皆さんも含めて、もうここで覚悟決めようよと、その中でそのまちにしっかりと目を向けていただいて、一緒にやっぱりこれからここに住んで、安心安全に老後も暮らしていかなきゃいけないんだと、取り組んでいこうよと、こういう雰囲気を作っていかなきゃいけない、こういう考え方を集約しなきゃいけない、それが今回の総合計画の策定だというふうに思うんです。そうした観点から、あえて私は今回のこの計画策定に対しては、色々な角度からこういうふうに皆さんの生のお話、お声というものを伺っていきたい。それをうちの職員にも聞かせたい。さらにそれをまた間に入っていて、お手伝いをいただくコンサルタントの会社にも聞いていただきたい。これをやはり直近で皆さんが感じになっているものを、やはり集約をする。その中にこそやはり、これから皆さんがじゃあ一緒にやっぺいこうじゃないかというふうに思うようなものが作れるように、大きなきっかけがあるんじゃないかというふうに思うわけなんです。特にこれからこの相模が丘、マンションもどんどん出来ています。当然新しいマンションが出来れば、若い世代が入ってこられます。しかしながら、それこそ昭和40年代の前半に開発をされたような住宅、こういうところに住まわれている方たちはみんな高齢化をしてらっしゃる、独居されている方もいらっしゃる。これは本当に開発された年代によってもこの同じ相模が丘の中でもモザイクのように住まわれている世代が違っている。これもやはりきっちりおさえていかなきゃいけない。先程社協の話、民生委員さんの話、民生委員さんも大変ご苦労をされています。自治会の皆さんも大変ご苦労をされています。ただ、それだけに頼ることも出来ない、それよりもやはりもう少し地域、自分たちが住んでいるところに関心を持ってらっしゃらない市民の皆さんにも目を向けていただきたい。その中にやはりもう1回この地域の再生というものがあるんじゃないかというふうに思うんです。先程サイトウさんのほうから、商店街の活性化の話もありました。この商店街の活性化、特に中心商店街として今まで栄えていたところが、全国各地でみんなやられちゃってます。これは過去における大規模小売店舗法の改正なんてものがある中で、それまで許可制だった代表店舗がもう全て届出をもってどうにでもなってしまう。私もうちの会社がひばりが丘に移転をした後に、すぐ北側の隣側、ダイクマ・サミットになった。大変これも苦労して、これに関しても当時私なりの取り組みを市に対してお願いした経過があったんです。これもじゃあ行政の立場で考えたらどうなのか、法的にどうしようもない。法的にどうしようもないことを、その下位にいる私共地方行政が、そこをかいくぐられたものをどういうふうに出せるのかということになる、これはそれだけでは解決出来ない課題になっているわけですね。これはこれで現実として受け止めたなかでもってやっぺいかなければならない。それが必要なことについては、やはり県内みんなに働きかけをして、これじゃあどうするんですかということについて訴えかけていかなきゃいけない、これは当然行政としてやるべきことだと思います。それからそ

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	24/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

の中心商店街の関係、先程もおっしゃっていただいたように、間違いなく今は郊外に大規模なショッピングセンターが出来て、そこへ若い世代を中心に車で乗り付けて、日が一そこそ遊びながら、昼飯もそこで食べながら、たつぷりと買い物をして帰ってくる。共稼ぎの皆さんであれば、これでも一週間分の買い物をしてきちゃう、こういう常態的な姿があると思うんですね。しかしながらこれがやはり高齢化をして、車にも乗れなくなる、それから下手すれば自転車にも乗れない、歩くことも出来ない状態になればやはり自分たちの近くに、少なくとも生鮮三品の店が無かったら困るじゃないかという事態も間違いなくこれもくると思う。これはやはり現実、私共のまちが抱えている以上、地方の都市の中で、明らかにこれは出ているわけで、これも大変僭越な話ですけれども、そういう取り組みについても私は非常に興味を持って、拝見をさせました、これからもさせていただきたいというふうに思うんですけれども、間違いなくこの座間のまちにもそういう課題が出てくると思います。そうした中で商店、まだ一生懸命個店でやってらっしゃる皆さんのそのお気持ちというもの、これが萎えてしまったら駄目なんですね。これについてもやはり全体の方向性の中でそれについての理解をさせていただきながら、その勇気その根気というものをなんとか維持して、来るべき時期に備えていく、そうしたような方向性というものも当然この計画の中にもうたい込んでいかなきゃいけない話だというふうに思う。こうしたような課題、これは今日いらっしゃってる皆さんの共通認識の部分が沢山あるかと思うんですが、じゃあこれをどうすると、それこそ総花的に全部やろうと思えば大変なお金がかかってきます。そこにはやはり既存の部分、既存やってきたものについてそれを有効活用しながら本当に、例えば施設の関係、維持管理整備こういったものが中心になろうかと思えますけれども、これはやはり費用対効果というものを考えながら、またその座間の中でも色々な多様な地域があります。この地域の特性にしたがって、この対応を考えながら取り組みをしていくと、やはりこういったことが求められる、非常にきめ細やかなことが求められていく時代に間違いなくなっていくというふうに思っております。そうした面でも無いものねだりは出来ないと思えます。隣の海老名のビナウォークを見れば本当にこれは羨ましいかぎりですね、間違いなく。しかしながら逆に目を転じてみると、私商工会の会長やっているときに、こういう話をしたんですけれども、当然サイトウさんとこのこちらの相模銀座の皆さんともそういう話もさせてもらいました。座間には核がないんじゃないか、商店街の核もない。結局は周辺の駅の周りにちょこちょこ商店街があって、そこには集客力がない、商圈はみんな周りに取られちゃってる、海老名なんかそうじゃないかと。ところがじゃあ海老名はどうだろうか考えると海老名のビナウォークというのは全部外部の資本なんですね。外部の資本、すなわち海老名にいらっしゃった、ネイティブの皆さん、もともと海老名で商店を営んでいらっしゃる皆さんからすると、テナント料が高くて入れない、結局トータルで見ると、もともと海老名にいらっしゃった商店の皆さんの売り上げも何もそこに吸収されてしまって、もともとの皆さんのところには行ってないんです。それは行政からすればあれだけのものが出来て、そこから一定の税収があるということからすれば、これはメリットかもしれないけれども、各個店の皆さんからすれば抱えている課題は一緒ですよ。だったらば逆に少なくともこの座間のまちというのはそういう大きなものが無いだけに、確か今 23 ありましたか商店街、その皆さんがそれな



件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	25/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

りにやはり活力を持って特色を持っておられることなくして、地域の商業の活性化ないんですよという方向への見方というものを、すくなくともうちの行政の中では出来るんじゃないか、そういうふうにするプラス思考で考えていきましょうというようなことを申し上げたことがありました。あともう1つ申し上げておくと、これも思い出すんですね。商店街、商工会の旅行のときに、バスの後ろいわゆるサロンカー、シート、コの字型にして、午前中から皆さん商店長の皆さん宴会始まったので、私は午前中は前でじっくりそれを耳をそばだて聞いておりました、どんな話をされるのか、みんなおっしゃるわけですが、昭和40年代に辰街道に越してきたんだけど、全然今商売にならない、おれたちはいつまでもよそ者扱いだと、おれたちは、新住民でもって、小田急線の向こうとこっちは違うんだ。こうおっしゃられるんですね。私昼飯食べた後でその輪の中入りまして申し上げたんです。皆さん何をおっしゃる、おれのとこだってここ来たの昭和47年なんだけども、皆さん聞いててびっくりしたんだけども、言葉みんなズーズー弁じゃないと、座間弁ないね、あなた方だって例えばAさんどちら、山形、Bさんは青森、Cさんは岩手、私秋田、東北の人ばかりだったんですよ。そこで語られてる言葉ズーズー弁、東北弁なんです。座間弁じゃないじゃない、そんなこと言うんだったらあなた方は、座間のネイティブの人っていうのはおそらく今2万人いないんですよ。そうじゃなくってこの相模が丘もひばりが丘もそうですけれども、相武台・広野台地域を中心にこの高度経済成長にしたがって外から移り住んできた方たちのほうがはるかに多いんです。そうした皆さんが、この座間を縁として住まわれた以上は勇気を持って、元気を持っておれたちこそがアメリカ大陸における開拓民なんだと、座間の皆さんはネイティブインディアンなんですというぐらいの気持ちを持って取り組んで下さい、そうじゃなかったらこのまち良くなりませんよ、というようなことを申し上げたことがありました。これからやはりこの地に生まれ育ち、隣の副市長ももうネイティブのネイティブですけれども、後ろにもネイティブいっぱいいます。あえて、だからこそ私こういう話をするんですけれども、私は外から来た人間、しかしながらそれはやはり両方、やはり見方が違うものがある、価値観も違うものがある、しかしながらこの座間のまちというものを縁にして、これからきちんとこのなかで、住んで、安心安全というものを作っていかなくちゃいけない、これはやはりお互いの役割、お互いの持っているものがあると思います。特に外から来られた方たちで先程の高齢化なんて言いますが、本当に65で高齢化とんでもないです。まだまだ現役ですよ。60歳で定年になって、先程の桜道の関係なんかでも一生懸命皆さんやってらっしゃる方いますよね。本当にこんなに能力があるのか、こんな経歴があるのかというふうな方たちがいっぱい住んでらっしゃいます。特にこの相模が丘なんていうのは人材の宝庫だと思うんです。そういう方たちが前に出ていただいて、それまで培っていただいた労力、ご経験というものを本当にこのまち共に住んでいるコミュニティを作っていくために、ほんの少しでもいいから出していただければ、それがまちのためになり地域のためになり、そしてご本人のそれこそ介護療法にもなるということにつながると思うんです。ですから、そうした部分での取り組みが出来るようなやはり方向性をなんとか私は今回の総合計画策定にあたっては目指してまいりたいというふうに思います。非常に地道な取り組みになるかと思いませんけれども、どうか皆さんのご理解と更なるご協力、ご指導を賜りたいというふうに思います。

件名	地域別懇談会 【相模が丘地域】	頁	26/26
日時	平成21年10月16日(金)	場所	北地区文化センター

今日は本当にお忙しい中またお腹がすいている中、最後までお付き合いいただきまして本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## 6. 閉会

以上をもちまして本日予定をしておりました地域別懇談会の内容につきましては終了いたします。本日は貴重なお時間とご意見いただきまして改めましてありがとうございます。これをもちまして地域別懇談会を閉じさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。